

令和5年度第2回知立市男女共同参画推進審議会 会議録

日時：令和5年10月13日（金）

午後2時から

場所：知立市役所現業棟 第4会議室

（出席者）8名

稲浪委員、佐野委員、丹羽委員、高橋委員、荒木委員、三浦委員、野村委員、加藤委員

（欠席者）2名

押金委員、山本委員

（部長）

お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日は、第3次知立市男女共同参画プランの中間見直しについて、委員の皆様にご審議いただきたいと思っています。皆様の忌憚ないご意見をいただきますようよろしくお願い致します。

1. あいさつ

・会長あいさつ

世界と比較すると、特に政治の分野で日本の男女共同参画意識が低いと言われていますが、ここ1・2年で男女共同参画に関する意識が変わってきていることを感じます。知立市のアンケート結果にも意識の変化があらわれていました。

本日は男女共同参画プランの中間見直しについてということで、皆さまにご意見をうかがいたい。よろしくお願いします。

2. 議 題

（1）第3次知立市男女共同参画プランの中間見直しについて

<資料に沿って事務局より説明>

（稲浪会長）

説明が終わりました。膨大な資料となりますが、何かご意見、ご質問はございませんか。

（高橋委員）

男女共同参画プラン（案）7ページの本文最初の行に知立市の総人口の記述がありますが、令和2年のものとなっています。これが最新のものという認識で良いでしょうか。

（事務局）

最新の国勢調査の人口となります。国勢調査の数値であることが分かる記述とします。

（稲浪会長）

8ページ「世帯構成別割合の推移」を見ると、愛知県と比べて単独世帯の割合が多いようですが、考えられる理由はありますか。

（事務局）

知立市にはトヨタ関係の单身寮があります。西三河地域の単身者が居住するのに適している立地条件だからではと推測します。

（丹羽委員）

12ページの「各役職段階にある市職員に占める女性職員の割合」を見ると、部長級、課長級の女性職員の人数にあまり変化を感じません。理由をどのように考えていますか。

（事務局）

部課長になる年齢である60歳に近い人は、女性より男性が多いです。ただ、40代以降は、女性比率が高くなっていますので、今から増えていくのではないかと考えています。

（稲浪会長）

学校現場での状況はどのようですか。

（丹羽委員）

校長は男性が多いです。管理職に上がると仕事が大変であるという意識が30代40代でも多く、意識を変えるのは大変だなと感じています。ただ、市も増えていっていると聞いて、今後、学校現場の意識も変わってくるのではないかと安心しました。

（事務局）

市職員は、係長に上がってから退職された人が多いため、このような結果になっています。ただし、今は仕事も平等であるため、変わっていくのではと感じています。

（三浦委員）

主査、主事級は女性が多いですね。

(事務局)

知立市は公立の保育園が10園あり、保育士はまだ女性が多いため、主査・主事級が多くなっています。

(荒木委員)

65歳を超えても元気で働いている人が多くなってきている印象がありますが、市役所の定年は何歳ですか。

(事務局)

定年延長で60歳から65歳まで毎年延びていきます。現時点でも、定年後、65歳以上で会計年度任用職員として働いている人も市役所にはいます。

(加藤委員)

同じく12ページの男性の配偶者出産休暇・育児参加のための休暇の平均取得日数が6.1日となっています。この数字は少なすぎるように感じるのですが、何日取得できるものなのでしょうか。

(事務局)

全て取得すると8日と聞いています。100%の人が取得したのですが、平均すると取得日数は6.1日であったということになります。この制度は、国に準じています。

また、育児休業は無給のもので、1週間か2週間取得する人もいます。市からは給料は出ませんが、健康保険から手当が出るものです。

(加藤委員)

市から手当が出るようにすると、もっと育児のための休暇を取得する人がいるのではないかと思います。

(事務局)

担当課に伝えます。育児休暇を取って当たり前という意識改革は必要であると考えております。

(会長)

13ページからの中間評価について、何かご意見はありますか。

(三浦委員)

市の防災士取得についての補助金をもっとPRしてほしい。少しでも女性の取得者数が増えることを期待しています。

(加藤委員)

防災ママかきつばたの意見で、避難所の運営が変わってきたのを感じます。女性の意見で様々なことを変えることができます。

(稲浪会長)

男女の役割分担意識については割合が増加していますが、男女の地位の平等感は減少しています。これは、意識の低下ではなく、ジェンダーギャップを感じる人が増えてきた結果で、評価すべき数値であると見ることもできます。

(事務局)

今まで普通だと思っていた人が、変だな、不平等だなと感じるようになった結果ではないかと事務局では思っています。審議会委員の皆さまもそう考えていただけるのであれば、プランにも反映したいと考えます。

(高橋委員)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という設問は、若干時代錯誤的だなと感じますが、この設問を受けての男女の地位の平等感D評価だと思えます。

(加藤委員)

評価すべき数値ですが、男女とも意識を変えていく必要があることは否めません。ただ、今後は数値が延びていくのではないかと考えていますが、家庭の中の意識を変えることでもっと延びると思います。

(稲浪委員)

男性も女性も意識が変わってきています。過渡期ではないかと思えます。

(佐野委員)

コロナ以降、女性の就業が不安定であるということが浮き彫りになっています。数値だけでは読み取れないのですが、コロナ3年間の影響も何かしらアンケート結果に出ているのではないかと推測します。

(加藤委員)

「あいち女性輝きカンパニー」については、入札のポイントになるだけでなく、市とし

て他のアピールができるといいのではないのでしょうか。

(稲浪会長)

22ページの「各分野の男女の平等意識」について、男女別の結果を見ると、他に見えてくることがあるのではないかと思います。数値はお持ちですか。

(事務局)

<説明>

プラン掲載の有無については検討します。

(稲浪会長)

17ページの基本理念について、「誰もが」という単語を事務局案では入っていますが、何かご意見はありますか。

(野村委員)

基本理念の言葉「誰もが」の位置についてですが、「性別にかかわらず、誰もが」または、「誰もがいきいきと輝けるまち」のほうがすんなりと入ってくる印象があります。インパクトを求めて接頭につけたのでしょうか。

(事務局)

正直なところ、位置や表記の仕方（漢字か平仮名か）について、どのようにすべきか迷っています。皆さまにご意見をいただきたいのでよろしくをお願いします。

(佐野委員)

表紙を見ると、それぞれのフレーズの間スペースがある。そのフレーズの前につけてもインパクトはあるかと思うので、それであれば「性別にかかわらず」で始めたほうが良いと思います。

(稲浪会長)

男女共同参画の計画なので、「性別にかかわらず」で始めたほうが良いと考えます。

(丹羽委員)

「誰もがいきいきと輝ける」とすると意図が良く伝わります。

(稲浪会長)

表記は漢字でいいと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

意見なし。

3. その他

(稲浪会長)

事務局から何かありませんか。

(事務局)

次回の審議会ですが、第3回を1月31日(水)午後2時からを予定しています。

(稲浪会長)

以上で本日の予定の議題は終了しました。

(事務局)

本日はどうも貴重なご意見をありがとうございました。これで第2回男女共同参画推進審議会を終了させていただきます。

午後4時10分閉会